

令和3年度東京支部長挨拶



支部長	尾上 誠蔵 (S55 卒)
副支部長	北條 博史 (S56 卒)
監事	平川 明 (S57 卒)
総務幹事	佐々木 純 (H14 卒)
会計幹事	南川 敦宣 (H15 卒)
庶務幹事	増崎 隆彦 (H13 卒)
若手交流会幹事	日比野 勉 (H13 卒)

令和3年7月更新

令和3年6月に洛友会東京支部長に就任しました 尾上誠蔵です。

コロナ禍でフェースツーフェースでのふれあいの機会が減る中、同窓会など人と人をつなぐ役割は重要になっていると思います。末永く存続する会になるよう、諸先輩の後を受けて新しい役員、幹事とともにしっかりと務めてまいりますので、会員の皆さまのご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

昨年の支部総会は完全オンライン、今年は少人数のリアル会場とオンラインのハイブリッド形式です。ハイブリッド方式は昨年秋の講演会で確立した方法で東京支部も進化しています。また、オンライン会議は参加しやすくていいという声もいただきましたので、やむを得ずとった対応をポジティブに活用していく必要もあります。

長年の課題への取組みとして、若手会員の参画を促すため、若手交流会や拡大クラス会の若年層への拡大など対策をとろうとしていたところでしたが、コロナ禍のため活動が大きく制限されました。今年度こそというタイミングですが、状況はまだ不透明なので、オンラインでの実施のサポートなども考えていきたいところです。幹事の負担が大きくなると長続きしないので幹事も楽しみながらできる何かいい方法はないかと思っています。

私自身、数年前に還暦を迎えたとき、中学や高校の同窓会イベントがあり、年をとって初めて同窓会の価値を実感しました。若いころは時間的余裕もなくあまり意識することもなかったのですが、人生において人と人のつなげつづける意味でありがたいものです。若い人を含めて多くの皆様が積極的に参加されますよう、ご協力をよろしくお願いいたします。

以上